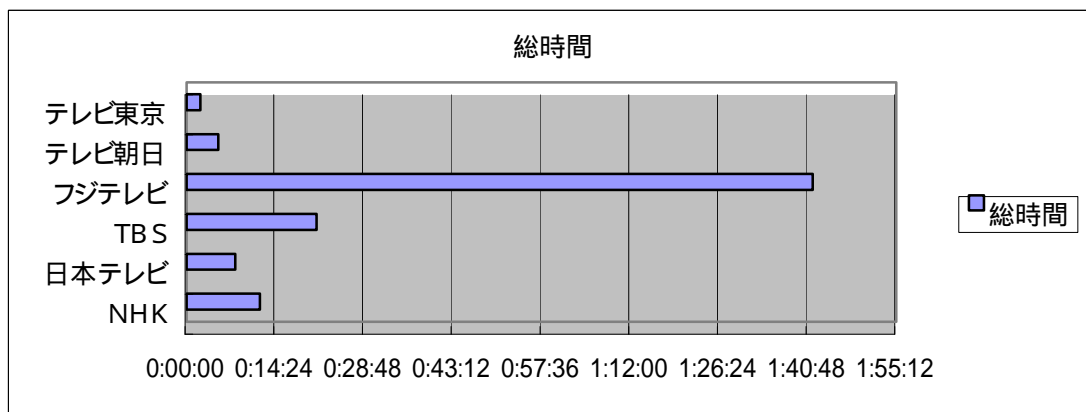
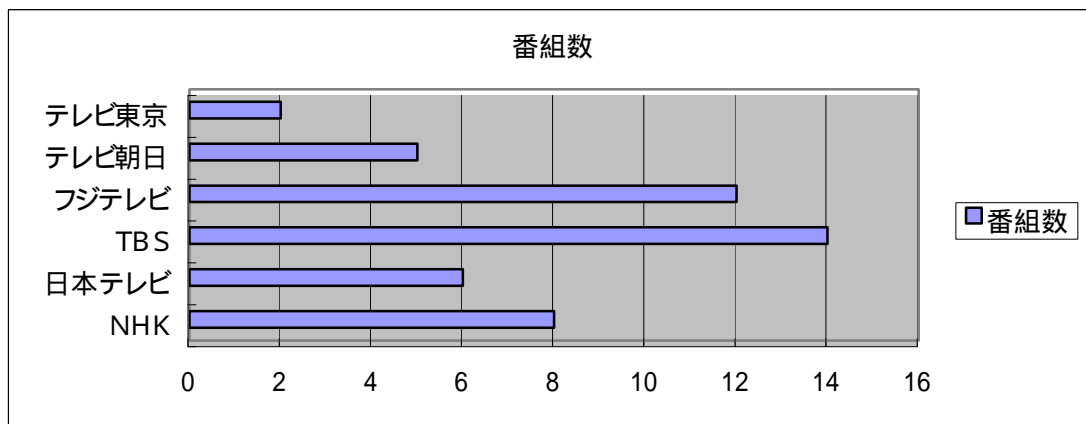


局	番組数	総時間
NHK	8	0:11:55
日本テレビ	6	0:07:55
TBS	14	0:21:05
フジテレビ	12	1:41:38
テレビ朝日	5	0:05:08
テレビ東京	2	0:02:14
計	47	2:29:55



男子バレーボールが16年ぶりに五輪への出場を決めた。北京五輪男子世界最終予選。初戦のイタリア戦でフルセットの未敗戦。その後は連勝を重ね、6連勝。大会2位、アジア枠1位で出場権を獲得した。その熱戦をこの報道はどう伝えたのかを探ってみました。

調査期間 6/6～6/8

調査対象 東京キー局

報道番組数は48番組で、TBSテレビが14番組と最も多くの番組に取り上げた。TBSはコンスタントに報道・ニュース枠で放送していた。続くフジテレビは、12番組。金曜日、土曜日の午前中で多く取り上げた。NHKが8番組。15分枠のニュースでも2番組取り上げて放送した。以下、日本テレビ6番組、テレビ朝日5番組、テレビ東京の2番組の順となった。

この大会は、女子バレーボール同様にTBSとフジテレビが共同放送を行っており、6日のオーストラリア戦はTBS、7日のアルゼンチン戦、8日のアルジェリア戦はフジテレビが中継を行った。五輪出場が決まった7日では、フジテレビ「すばると」では放送時間50分中、31分弱も取り上げていた。(トータルでも1位1時間41分)二番目に多く放送したのはTBSの21分ですが、フジテレビと大きく差を空けられてる。TBSでは、土曜日にワールドカップサッカー予選中継があり、報道番組である「プロトキャスト」の放送が無くなっているが、それでもフジテレビとの差は大きい。NHKが3位で11分放送している。出場権を獲得した直後のニュースに早々と放送していたのが印象深い。日本テレビ、テレビ朝日、テレビ東京と続く。